

2学期始業式あいさつ

おはようございます。

夏休みが終わり今日から2学期が始まります。皆さんにとってどんな夏休みでしたか？

私は、この夏休み中に、皆さんが、クラブの試合や発表会、就職活動、進学講習などに、真剣に取り組んでいる姿をたくさん見ました。

夏休みの始めは、野球部の夏の大会の応援に行きました。終業式でも少し話しましたが、日々の練習の成果を発揮し、5回戦に進出。ベスト8をかけて大商大高校に挑みました。残念ながら大商大高には敗れましたが、大阪府で公立高校として2年連続ベスト16に入ったことはとても立派でした。

7月末から8月の初めにかけては博多で開催された全国インターハイに陸上部の応援に行きました。暑い中、5日間の開催で集中力やコンディションを維持するのが大変だったと思います。そんな中、女子棒高跳びで大会新記録を樹立し優勝を果たした、松井愛果さんを始め、5名の選手が8位以内に入賞し、大塚高校が**高校総体女子総合優勝**の偉業を成し遂げました。この後の報告会で、皆さんで祝福しましょう。

そしてお盆前には阪南大学で実施した、サマーセミナーに行きました。参加生徒の皆さんが意欲的に学習に取り組んでいる姿勢に 熱い思いを感じました。

さて、今年の夏はパリ・オリンピックが開催されました。明後日の28日からはパラリンピックも始まります。コロナ禍で 開催された前回の東京オリンピックと違って、有観客の大会は大いに盛り上がりました。日本選手も大活躍し、金メダル20個を獲得しました。

金メダルを獲得した、スケートボードの堀米優斗さんはインタビューで「本当にチャレンジしかない。折れても立ち上がって、折れても立ち上がっての繰り返し。自分との戦いだった」と話しています。

柔道の阿部一三さんは、「オリンピックまでの3年間は、楽な道のりではなかった。絶対無駄な努力はない。途中で辞めずに続けたことが実った。」と話しています。

そんな中、気になったコメントがありました。女子やり投げで優勝した北口榛花さんのコメントです。北口さんは「誰が味方か誰が敵か分らなかった。ひたすら自分を信じて頑張った」と振り返っていました。オリンピックで優勝する選手ですら、本当に心に不安を抱えながら自分を信じて戦っていることに心から感動し、北口さんの大ファンになりました。

ところで、パリ・オリンピックのスローガンは何でしたか。知っている人？

「Comes Wide open～広く開かれた大会～」です。いわゆる多様性(ダイバーシティ)を大切にしたい大会です。多様性と言えば、年齢や人種、国籍など外見的に分かりやすいものだけでなく、性格や考え方、価値観、性的思考や性自認など外見から判断しにくいものまで多くあります。

令和6年8月26日

例えば40人のクラスで、39人が同じでも40人目は違うかもしれません。また、「いままではこれが当たり前だった。これまで問題はなかった!」と思うことがあったとしても、過去と現在、そして未来は違うかもしれません。

2学期は大塚祭（文化の部・体育の部）や修学旅行などたくさんの行事があります。

オリンピックの年、このスローガン「Comes Wide open」を少し意識して、一人ひとりが自分の意見を遠慮なく言うことができ、皆がその意見に耳を傾け互いに尊重し認め合う。そして、その中でコンセンサス（合意）を作り、協力して一つのものを創り上げる。そんな大塚祭や修学旅行にして欲しいと思います。大塚生なら出来ると思います。期待しています。